

平成 29 年 2 月 27 日

厚生労働省
医政局看護課長様

一般社団法人 全国保健師教育機関協議会

第 103 回 保健師国家試験の出題内容について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から、保健師教育にご配慮いただき、厚くお礼申し上げます。

また、全国保健師教育機関協議会の活動に特段のご理解ご協力を賜り、感謝しております。

さて、2 月 17 日に行われました第 103 回保健師国家試験について、当協議会会員校から寄せられた意見を集約し、別紙の通り検討しましたので、お届けいたします。

是非、ご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

I 不適切問題

| 問題番号 | 理由 | コメント |
|---------------|-------|---|
| 【午前】 問題 18 | 正答がない | <p>選択肢 1、2、4 は明らかに誤答である。</p> <p>選択肢 3 は、薬局調剤医療費の「一人当たり」であることが明記されていないため正誤を判断できない。</p> <p><理由></p> <p>最新版「国民衛生の動向 2016/2017」には、平成 25 年度が掲載されており、薬局調剤医療費は、人口一人当たりでは 65 歳以上の 27.7 千円で、65 歳未満の 32.6 千円の約 4 倍。総額では 65 歳以上の 42,141 億円は 65 歳未満の 30,704 億円の 1.4 倍である。</p> <p>したがって、正答がない。</p> <p>なお、設問文にある平成 26 年度のデータは厚生労働省ホームページでの確認が必要であり、受験生に浸透しているデータとはいえない。</p> |
| 【午後】 問題 1 | 正答がない | <p>選択肢 1、3 は明らかに誤答である。</p> <p>選択肢 2 と 4 は、両選択肢ともポピュレーションアプローチの十分条件であり、部分的には合っているがいずれも必要条件ではないため、正しいとはいえない。</p> <p><理由></p> <p>選択肢 2：健康問題のない集団はポピュレーションアプローチの対象である。明確に正答肢とするならば「…集団にも」などの全てではなく一部分である旨の記載が必要と考える</p> <p>選択肢 4：受療者は症状コントロールの度合により全てがハイリスクグループとはいえない。明確に正誤を判断するには、症状の程度やコントロール良否の情報が必要である。</p> <p>したがって、両選択肢とも正誤が判断できない。</p> |

II その他改善を要する問題

| 問題番号 | 理由 | コメント |
|---------------|--------------|--|
| 【午前】 問題 16 | 選択肢の文言の改善が必要 | <p>受験生は選択肢 2 を容易に選択できる。しかし、最近「開放性結核」という表現は臨床でも、結核統計でも用いていない。作問には配慮が必要である。</p> |
| 【午前】 問題 44 | 設問の改善が必要 | <p>選択肢 2、3、4 が誤答であることが明らかであり、1 つを選ぶなら選択肢 1 しかない。しかし、平成 20 年度と 27 年度との 2 時点だけの比較での増加が、平成 26 年度の「検診実施施設」の増加後とはいえない。判断するためには平成 25 年度、平成 26 年度データが必要である。</p> |

| | | |
|---------------|-------------------------|--|
| 【午前】 問題 49 | 選 択 肢 の 改 善 が 必 要 | 選 択 肢 1, 3, 4 は 誤 答 である こと が 明 ら か であり、消 去 できる。受 験 生 は 選 択 肢 2 を 選 択 する と 考 え ら れ る が、生 活 上 の 困 り ごと へ の 対 応 と して 「主 治 医 に 相 談 する こと」が 適 切 である か だ ろ う か 疑 問 である。生 活 上 の 困 り ごと へ の 対 応 と して は、例 え ば、 「お 姉 さ ん と A さ ん の 今 後 の 生 活 を 一 緒 に 考 え ま し ょ う」 「こ れ か ら の 生 活 を 助 け て く れ る 人 は 誰 か い ま せ ん か」な ど と する。 |
| 【午後】 問題 17 | 設 問 の 改 善 が 必 要 | 「緊 急 事 態 宣 言」は 国 内 発 生 早 期、国 内 感 染 期 に も ある 措 置 である た め、ど の 段 階 の 緊 急 事 態 宣 言 である か が 不 明 確 である。ど の 段 階 の 措 置 である か の 特 定 が 必 要 である。 ま た、段 階 を 特 定 し た 場 合 であ っ て も、出 題 の 根 拠 と な っ て いる 新 型 イ ン フ ル エ ン ザ 等 対 策 政 府 行 動 計 画」は 89 ペ ー ジ に 亘 る も の であり、現 場 の 保 健 師 であ っ て も 本 対 策 を 熟 知 し て な け れ ば 解 答 でき ない 問 題 であり、基 礎 教 育 の 中 での 浸 透 状 況 は 低 い と 考 え ら れ 国 家 試 験 問 題 と して 適 切 である と は 考 え に くい。 国 民 衛 生 の 動 向 2016/2017 に も、当 行 動 計 画 が 策 定 さ れ た 趣 旨 や 経 過 の 記 載 は 有 る が、そ の 内 容 ま で は 記 載 さ れ て い ない。 |

Ⅲ 全体について

1. 状況設定を読み取る問題が増え、保健師国家試験としては望ましい出題であった。
2. タキソノミーⅠは34問(30.9%)、Ⅰ'は35問(31.8%)、Ⅱは21問(19.1%)、Ⅲは20問(18.2%)であった。状況設定問題ではタキソノミーⅡとⅢが多くを占めていた。全体としてタキソノミーⅢ(問題解決型)の問題の割合が上がり良問題が増えた。
3. 選択肢は単純真偽がなく、適度な魅惑肢(誤答肢)が作られていた。よって、判別力を問う良い問題が多くみられた。